



令和4年度

5月 三大幼だより

江東区立第三大島幼稚園

園長 貞方 敦子

令和 4年 4月 28日



三大幼 HP は
こちらから

「こどもも大人も自分のよさや新たな自分を発見できる場」 となりますように

園長 貞方敦子

先日のことです。年長組のエピソードです。

学級みんなで、これから一緒にパラバルーンで遊ぶという場面のことでした。

「私、Aちゃん、好きなんだ」と近くにいた私に、聞こえる程度の声でBさんがつぶやきました。「そうなのね」と私も返すと、Bさんは、黙ってうなずきました。私は、そのBさんの言葉をAさんに、そっと小さな声で伝えてみました。

その言葉を聞いたAさんは、笑顔になり、跳びはねて、「嬉しいなあ」と言い、友達とつないでいた手をしっかり握るとい場面を見ることができました。BさんもそのAさんの姿を見てにっこりしていました。

担任にその状況を話すと、その日、Aさんは、気持ちの切り替えができずにいる場面があったそうです。Bさんの発言は、おそらく、その事を感じての言葉ではないだろうか。つまり、Aさんの気持ちが切り替えられ、一緒にパラバルーンをすることができて嬉しいよ、ということ传达了かったのではないかな。という解釈でした。



『Aさんの気持ちが切り替わってよかったね、一緒にできて嬉しいよ』という学級の友達のことを思う気持ちがこもっている言葉でした。そして、Aさんにとっても、そのような仲間がいるという実感がもてたのはよかったと思います。

今年度は、教育目標の一つ「やさしい子」に重点をあてて教育活動を展開します。たくさんのこどもたちの姿から「やさしい子」ってどんな子？私たちは、どのようなこどもを育てていきたい？そのためには？と考えていきたいと思ひます。

先月、「自己発見・自己充実・自己変容」をと書きました。第三大島幼稚園に関わる人が自分のよさや新たな自分を発見できる場となることを願っています。

今月の指導のポイント

年中りんご組

幼稚園生活が始まり、1ヵ月が経とうとしています。こどもたちは、興味をもった遊びに自分から関わり、遊ぶことを楽しんでいきます。一人一人が自分のしたい遊びを見付け、十分楽しめるようにしていきます。また、教師や友達と同じものを持ったり、身に着けて遊んだり、同じ動きをしたりして遊ぶ中で、友達と同じ場を過ごすことの楽しさも感じられるようにします。

過ごしやすい季節になりました。戸外でもたくさん遊び、体を動かす心地よさを味わえるようにしていきたいと思ひます。

年長児に教えてもらったことで、朝の身支度の仕方が分かり、自分でも最後まで取り組もうとする姿が出てきています。弁当も始まり、自分であることが増えました。自分でやってみようとする姿を認め、意欲や自分でできたという自信につながるようにしていきます。

年長にし組

グループの友達と相談して作ったこいのぼりが空高く泳いでいます。進級して1か月。新たに使えるようになった大型積み木や虫眼鏡などの遊具を使ったり、おひさまの部屋や玄関ホールなどの新しい場で友達と遊んだりする姿が見られています。

今月は、友達と一緒に相談して取り組む活動の一步として（協同的な活動）として、お店ごっこをテーマに、活動を進めていきます。友達と共通の目的に向かって活動を進める中で、思いや考えを出し合いながら必要なものを用意したり、様々な素材に触れ作ったりしていきます。また、なりきって遊ぶことやお客さんとのやりとりを楽しめるようにします。そのような過程を通して、友達と一緒に活動に取り組んだという喜びや達成感を感じていけるようにします。